

## 平成30年 年末訓示

平成30年の仕事納めにあたり、一言申し上げたいと思います。

この一年間、職員の皆さん、大変ご苦労様でございました。

今年の年末は、いつもの年末と違って、「平成最後の」というキーワードが数多く見受けられましたが、皆さんはどのように感じていたでしょうか？

改めて今年を振り返ってみますと、全国的には、今年も自然災害が多かったと思いますが、幸いにして、本村では、大きな災害もなく、比較的穏やかな一年だったのではないのでしょうか？

特に、最近の嬉しいニュースとしては、東海中学校の男子駅伝チームが全国大会で8位入賞を果たしたことです。県大会で優勝したことも素晴らしい出来事でしたが、全国の強豪と互角に戦った選手の皆さんに、改めて拍手を送りたいと思います。彼らの中から、将来の箱根駅伝で活躍する選手が出てくるかもしれませんね。今後とも温かく見守っていきましょう。

役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

今年は、4月に大きな組織改編があり、皆さんにとっても苦労の多かったことではないかと思えます。限られた人員や組織の中で、複雑化する住民ニーズにもしっかりと対応してもらったと感じています。

子育て支援では、待機児童解消に向けた取組みや学童クラブへの対応はもとより、病児・病後児保育施設の整備推進など複数の課題に対して、課員一丸となって取り組んでもらいました。来年度に向けては、新たな取組も期待されているところでありますので、引き続き、皆さんの努力に期待しているところであります。

高齢者支援では、敬老会式典の廃止に伴い、一部の村民から厳しい指摘も受けたところではありますが、皆さんに丁寧に対応して頂き感謝しております。私自身は百歳到達者を直接訪問出来たことで、貴重な経験を得られました。今後は、認知症対策をはじめ健康寿命を延ばす取組みをさらに進めていきましょう。

障害者支援では、担当課を設置したこともあり、より丁寧な対応に努めてもらったものと感じています。今年から役場内で始まった「あつマルシェ」も好評と聞いており、引き続き、皆さんには、障害者に寄り添ったサポートをお願いしたいと思えます。

また、社会福祉関係や医療関係をはじめとした窓口業務においては、様々な相談に対して、いつも懇切丁寧に対応されており、改めて感謝いたします。多くの村民から、窓口対応が素晴らしいとの評価を得ており、村長としても大変嬉しく

感じているところです。

今年、産業部を設置し、特に産業振興に力を注いできたところではありますが、県と連携して取り組もうとしていた新たな交付金事業は採択されず残念な結果となりました。一方で、工業団地立地企業との懇談など新たな取り組みも行われ、今後とも、地域経済活性化に向けた支援を積極的に展開出来るよう皆さんの努力に期待しております。

また、農業振興においては、農地の集約化も着実に進められており、生産者への支援策の充実と併せて、本村農業をしっかりと支える基盤は確立しているものと感じております。今後は、担い手確保の問題等に対処するため、農業関係者と連携しながら、更なる施策の導入を検討していかねばなりません。皆さんと一緒に、新たな取り組みを考えていきたいと思っております。

建設部においては、阿漕ヶ浦公園の整備が着実に進められ、より快適で村民に喜ばれる公園としてリニューアル間近となっております。来年の国体開催時には、この公園の良さを全国の方々にもアピールできるよう取り組んでまいりましょう。また、中央地区の区画整理事業では、順調に事業が推進されており、新たな市街地形成が次第に形となって表れてきております。引き続き、事業進捗に鋭意取り組んで頂きたいと考えております。

一方、道路整備や上下水道整備は、計画どおりに進められており、今後とも、村民の生活環境を支えているという使命感を持ちながら、業務に精励して頂きたいと思っております。

環境政策においては、バイオマス利活用の検討や子供たちへの環境教育が順調に進められている一方で、環境活動団体の担い手確保といった課題も見えてきております。環境問題をもう一度、村民全体で考えられるような機運醸成が必要な時期にきていると思われるので、一緒に考えてまいりましょう。

原子力政策においては、東海第二発電所関連で、大きな節目を迎えた年であったと言えるでしょう。3月に事業者と「新安全協定」が締結され、11月には規制庁の安全審査が終了したところであります。一方で、本村においては、昨年引き続き広域避難訓練を実施し、広域避難計画(案)の検証を進めて参りました。村民やメディアも大変注目している案件であり、今後とも、慎重に丁寧に対応していかねばなりません。これまでの担当者の皆さんの努力に感謝しつつ、引き続き、原子力防災への意識を高く持ちながら、村民の安全安心の確保に努めてまいりましょう。

地域づくりにおいては、私が掲げた「未来ビジョンづくり」の一環として、亀下地区・緑ヶ丘地区をモデルとした話し合いの場づくりを進めてきました。担当課の皆さんにとっては、手探り状態の中で一緒に取り組んでもらったことを感謝します。まだ出口は見えてきていませんが、一歩でも前に進めるよう、引き続き

き努力してまいりましょう。

今年も、一番苦勞したのは、「(仮称) 歴史と未来の交流館」整備事業ではなかったでしょうか。議会对応を丁寧に行ってきたものの、反対署名活動が行われ、一部の村民からは、施設整備に対しての厳しい意見が出されました。「まる博」事業の展開など、担当課の皆さんには、ソフト事業にも取り組んでもらいましたが、引き続き、村民の理解が得られるよう頑張ってまいりましょう。そして、造って良かったと思ってもらえるように努めてまいりましょう。

国体・スポーツ推進については、プレ国体も無事に開催でき、来年の本番に向けて良い準備が出来ていると感じています。福井での視察も踏まえ、万全の態勢で臨めるよう、しっかりと取り組んでまいりましょう。そして、国体終了後も、「ホッケーのまち TOKAI」をレガシーとして遺せるよう盛り上げてまいりましょう。

このほかにも、「とうかい国体盛り上げ隊」、「公共施設等総合管理計画の推進」「選挙事務」、「しごとの仕方改革」、「姉妹都市交流事業」、「シティプロモーション」など、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、着実に事業を推進できたものと感じております。ご苦勞様でした。

年末年始の休みは6日間ですが、しっかりとリフレッシュしてください。そして、いつも申し上げておりますが、家族との団欒は大切です。家族の支えがあった良い仕事が出来ますので、大事にしていただければと思います。

なお、危機管理対応は常に意識してもらわなければなりませんが、正月ですから、災害のない穏やかな年明けを迎えたいと強く願っております。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明け4日には、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。